



Oplan

# FAQ

「よくあるご質問と回答」に関する資料

# Oplan Q&A

2025年4月1日更新  
株式会社 新 出 光

## ●ご提案内容に関するご質問

Q	A
同じようなことをやっている他社との違い、新出光の強みは何ですか。	①創業以来エネルギーを生業としてきた会社であること →電力事業及び太陽光事業を展開しており、蓄積されたノウハウをPPA事業に活かしております。 ※電力事業では「九州で信頼できる電力会社」第1位に選ばれました（日本トレンドリサーチ2021年4月）。 ※太陽光事業は2007年個人宅からスタートし産業用FIT含めて1,500箇所以上の施工実績があります。 ②PPA事業についての導入実績が多数 →製造業や小売業を中心に幅広い業種で実績を積み重ねております。 詳細につきましてはHP導入事例をご覧ください。⇒ <a href="https://www.eco-idex.com/">https://www.eco-idex.com/</a> ③お客様に合ったオーダーメイドでの提案が可能 →折板屋根だけではなく、カーポート、野立てのご提案が可能です。 品質と価格のバランスを考えお客様にとって最善のご提案をさせていただきます。
電気代は安くなりますか。	安くなったケースが実績として多数あります。但し、条件によっては安くならない可能性もございますので、まずはシミュレーションをご依頼ください。
メリットとデメリットを教えてください。	【メリット】 ・お客様ご所有の土地建物がSDGsの取り組みとして地域社会の発展に貢献（＝SDGsへの取り組みが評価され企業価値の向上） ・初期投資0円で電気代の削減 ・運用・メンテナンス費用0円 ・再生可能エネルギーの活用で環境貢献 ・遮熱効果が期待できる ・BCP対策（停電時パワーコンディショナーより最大1500Wの電気の使用が可能） ・工場立地法の環境施設比率をアップすることができるため緑化対策にもなります。（各自治体に確認が必要） 【デメリット】 ・太陽光を設置することで、屋根のメンテナンス等の自由度がなくなる ・太陽光設置前に屋根のメンテナンスにご対応いただくケースがある ・契約期間が原則20年と長期契約 ・賃貸のケースで土地・建物の契約期間の残りが短い場合は導入が難しい。
リスクがあるとすれば、それはどのような部分ですか。	契約年数に縛りが発生します。
メリットがでにくいケースがあるとすればそれはどのような場合ですか。	太陽光設置容量に対し電力使用量が少ない場合、コストメリットが出にくい傾向がございます。また太陽光設置容量が少ない場合（太陽光容量で300kW未満）は設置容量が大きい場合と比べてコストメリットが出しづらくなります。
低圧でも設置可能ですか。	九州電力管内では1箇所でもご提案可能です。
太陽光で発電した電気料金には、再エネ賦課金・燃料費調整額がかかりますか。	再エネ賦課金・燃料費調整額はかかりません。
申請手続きで何かやることはありますか。	ございません。申請手続きは全て新出光にて行います。
自己投資を行った場合の設置金額はいくらですか。	お客様ごとに試算をさせていただきます。
系統電力は他社契約で大丈夫ですか。	系統電力は他社でも問題ございません。
すでに太陽光を設置しており、全量売電を行っています。設置スペースはまだあるのですが増設はできますか。	現在、すでに全量売電されている場合は一般電気事業者の承認がおりれば追加設置が可能です。余剰売電をされている場合、基本的に増設不可です。
余剰電力がでた場合どうするのですか。	余剰電力が発生した場合、弊社にてその電力を売電させていただきます。
太陽光の設置容量は契約電力と関係がありますか。	契約電力ではなくキュービクルの容量と関係がございます。
屋根に最大設置してほしいのですが余剰が多くなる場合のお客様のメリットはありますか。	電気使用量に対して最適なパネル設置ではなく可能な限り最大のパネル設置をした場合、自家使用分が多くなるためCO2削減量が多くなるメリットがあります。
補助金の対象になりますか。	対象になる補助金もあります。 詳しくは、営業にご確認をお願いします。

モニター設置も0円ですか。顧客へアピールするためモニターを設置したいと考えています。（発電量、使用量の見える化）	モニターは原則お客様にご準備いただきます。 お客様側でモニターをご準備いただくことで大画面でのPRも可能となります。
改装工事ともあわせて設置など可能ですか。またその時の工事代はどうなりますか。	改装工事なども合わせて設置が可能です。太陽光を設置するために必要な屋根の改装工事もゼロ円のプランもございますが、電気代削減額のメリットが少なくなります。
蓄電池セットプランはありますか。	ございます。
折板屋根以外に取り付けられますか。	折板屋根以外にも、新築時の陸屋根への設置や野立て・カーポートタイプのご提案も可能です。

#### ●契約に関するご質問

Q	A
契約満了後何年まで延長が可能ですか。	延長の上限は設けておりませんが、更新の都度建屋の状況も踏まえ協議とさせていただきます。
契約期間の変更は可能ですか（10年や15年など）。	別途協議をさせていただき、弊社内の決裁が必要となります。
契約満了後更新をしない場合、太陽光はどのようになりますか。	無償譲渡もしくはお客様費用負担のうえ弊社にて撤去、から選択いただけます。
中途解約したときのペナルティー（違約金等）はありますか。 （移転及び店舗閉鎖事業譲渡等に伴う解約含む）	中途解約のペナルティはございます。 解約清算金＝残存価額＋本設備の撤去費用
破産等会社を特別清算する場合の撤去費用はどうなりますか。	契約書の解除事項に該当します。責のある当事者が撤去費用を負担することになります。
屋根について賃貸借契約を結ぶ必要はありますか。	賃貸借契約を結ぶ必要はございません。新出光の契約内容は、新出光が太陽光自家消費システムを屋根に設置し、その設備を用いて発電をすること及びその電気を需要家に買っていただくという内容となっております。
建物に太陽光を設置した場合、建物所有者が倒産したとき新出光は所有権、地上権など何らかの権利を請求してくるのでしょうか。	本設備を撤去する期間、対象部分を無償で使用させていただきますが、その他の権利は請求致しません。設備は、独立した動産であり、設備の所有者である新出光が、不動産所有者である需要家に対し、不動産に関して何らかの権利を主張することはできないということになっています。
契約期間中、新出光が倒産した場合の対応を教えてください。	契約書は、当社が倒産した場合、当社の責任及び費用をもって本設備を撤去することになっています。 ただし、倒産手続きの場合には、管財人や監督委員の処理に任せられますので、金銭的な支払いも配当という形になり、需要家様の費用負担で本設備を撤去し、その費用を破産財団に請求し、最終的には配当を受けるという流れになる可能性がございます。
自己所有として自家消費（余剰電力は売電）する方法やリースで対応する方法もありますが、Oplanで設置する場合のコストや会計上のメリットを教えてください。	所有者が新出光となるため、資産について企業会計原則に基づき作成された貸借対照表に原則として計上されません。詳しくはお客様への会計士へご確認下さい。

#### ●保守・メンテナンスに関するご質問

Q	A
メンテナンス、点検費用および自然災害補償（動産保険費用）はかかりますか。	設備投資やメンテナンス、点検費用および自然災害補償（動産保険費用）等のランニング費用は新出光負担となります。ただし、保安規定の変更に伴う電気主任技術者の保安点検費用が増額になる可能性がございます。詳しくは電気主任技術者へお問い合わせ下さい。
メンテナンスの頻度など、内容を教えてください。	定期的なメンテナンスは原則年1回行います。 遠隔監視にて発電状況を確認しており、不具合が発生した際は都度下記の対応を行います。 ①発電異常発生（計測装置から異常アラートを受信） ②お客様・電気主任技術者様へ発電異常の状況報告 ③メンテナンス会社へ出動指示 ④発電復旧作業（電気主任技術者様との連携） ⑤復旧完了報告（後日、報告書を提出致します）
太陽光を設置した事によって雨漏りが発生した場合の対応を教えてください。	太陽光を設置したことが原因の雨漏りは弊社負担で修理致します。
台風で太陽光や屋根が飛んだ場合の対応を教えてください。	太陽光の設置に起因するものであれば当社にて費用のご負担を致します。そうでない場合お客様にてご対応をお願いします。
需要家側で保険に入る必要はありますか？	建物についての火災保険等には入っていただく必要がございます。

太陽光に不具合があり発電できない状態になった場合お客様にマイナス面はありますか。	弊社側の保守部隊が遠隔監視で確認しているので不具合があれば弊社にて対応致します。その時のお客様のマイナス面は系統電力より安く供給されている太陽光の電気を買う量が少なくなることです。
海岸沿いで塩害が不安ですが設置はできますか。	海岸線から50m以内の場合は設置できません。 パワーコンディショナ・架台は塩害仕様が必要の為、通常よりメリット額は少なくなります。
鹿児島で灰が多いです。清掃などの保守サービスはありますか。	発電に支障をきたす程の汚れが生じた場合は弊社負担で清掃を行います。火山灰が極端に多いエリアは設置自体が出来ない可能性があります。
ソーラーパネル装着時の補償及び保険について、台風等の災害時に太陽光装着による屋根の剥がれ及び屋根が剥がれた事による室内の内壁・商品等も補償の対象になりますか。	太陽光パネルの補償となりますので屋根の剥がれに伴う補償は太陽光の自然災害補償には含まれておりません。
自然災害や動物災害など発電設備に影響が出た場合の修理負担はありますか。	お客様の修理負担はありません。新出光の負担にて修繕致します。
地震での損害の場合損害責任はどちらにありますか。	不可抗力免責として双方損害責任を負いません。
発電設備が故障した場合、復旧・継続する場合の設備に関する費用負担はどちらが負いますか。	新出光にて復旧費用を負担することになります。 (理由) 当該設備は、新出光所有の動産であり、新出光が修繕義務を負うため。
契約終了する場合の設備撤去に関する費用負担はどうなりますか	お客様費用負担のうえ弊社にて撤去致します。

#### ●太陽光パネル・システムに関するご質問

Q	A
パネルメーカーはどこですか。	複数社の取扱いをしており、設置場所、容量の観点から都度最適なパネルメーカーを採用しております。
法廷耐用年数は何年ですか。	17年です。
太陽光の重量はどれくらいなのでしょう。	取付金具込みで11～13kg/m <sup>2</sup> となっております。また、軽量パネル対応も可能です。
建物の荷重計算を行わず設置をして大丈夫でしょうか。	構造計算については建物施工会社もしくは設計事務所等へご確認をお願いします（費用はお客様負担にてお願いします）。
発電から自家消費までの流れを教えてください。	太陽光パネルで直流電力を発電⇒パワーコンディショナで交流に変換⇒キュービクルで適切な電圧に変換⇒負荷設備にて使用となります。
事業終了後、パネルの撤去・廃棄費用はどちらの負担になりますか。	原則はお客様の費用にて弊社が撤去・廃棄致します。 ただし弊社都合による終了の場合は弊社費用負担になります。
パネル破棄代はいくらぐらいかかるのですか。	1枚当たり1,500円～2,000円、1kW当たり10,000円～20,000円となります（地域によって差があり）。 ※撤去費用は含みません。
太陽光と電線からの系統電力が重複して請求されることはないのでしょうか。	ございません。回路内で消費される電力は、送電されてくる電力と同時同量になるという物理現象があるため太陽光からの発電電力が多くなれば、電線からの系統電力は少なくなります。
太陽光の電力を使っていて、その電気が不足になり系統の電力が供給される切り替えの瞬間、電気は途切れないのですか。	自家消費電力から系統の電力に切り替わる瞬間は電気は途切れません。
太陽光で発電された電気は優先的に使われますか。	パワーコンディショナが系統の電圧より高い電圧で送電するため、太陽光で発電された電気が優先的に使用されます。
災害時、非常用電源として活用できますか？周辺が停電などした場合（系統から電気を購入できない時）非常用電源として使うことは可能ですか。	災害時、非常用電源として活用できるプランもございます。ただし、パワーコンディショナを専用タイプに変更しなければならないので、電気代削減額のメリットが少なくなる可能性があります。災害用の蓄電池セットのプランもございますので、詳しくは営業にお尋ねください。
日中停電しました。快晴であれば太陽光の電気でカバーできますか（工場の操業など）。	停電した場合、パワーコンディショナが止まってしまうため太陽光自家消費も止まり電気の供給はなくなります。そのため、工場などの高圧電力をカバーすることはできません。ただしパワーコンディショナに別途自立コンセントを設置する事で1台あたり最大1500Wの電気を使用する事が可能となります。
地域によって日射量に差があると思います。発電効率には影響しますか。	影響します。基本的に日射量が多い地域ほど発電量多くなり、北国のように日射量が少ない地域は発電効率が悪くなります。

#### ●保険に関するご質問

Q	A
---	---



お客様側の原因での火災が発生して太陽光発電システムに被害がでた場合どのようになりますか	お客様に対し、弊社は損害賠償請求ができます。但し、この損害は、「相当因果関係の範囲内にある相手方に直接発生した損害」であって、間接的な損害（例えば、逸失利益 等）は損害賠償責任の対象外です。また、お客様は、弊社との契約書に基づき、対象場所のうち建物に火災保険を付すことになっておりますので、事実上は、その火災保険から弊社の損害が払われることになると思われます。
太陽光発電システムが原因による火災でお客様の施設に被害が出た場合どのようになりますか。	お客様に対し、弊社は、契約書に基づき、損害を賠償する義務を負います。但し、この損害は、「相当因果関係の範囲内にある相手方に直接発生した損害」であって、間接的な損害（例えば、逸失利益等）は、損害賠償責任の対象外です。なお、お客様に対する賠償額は、契約書が定める施設賠償責任保険の保険金額を上限とすることになっております。 弊社に過失賠償責任がある場合(施工不良等裁判・判例に基づく)は、弊社の施設賠償で対応します。弊社に過失賠償責任が無い場合(太陽光機器の瑕疵等)は、メーカーのPL保険で対応して頂きます。
雷が太陽光発電システムに落ちて火災が発生した場合、どのようになりますか？	自然災害による火災であり弊社に過失はなくお客様の火災保険でお客様の建物は修復して頂くことになります。太陽光は弊社の動産保険で修復することになります。
Oplanの太陽光発電システムにお客様は動産保険に入れますか？	可能です。通常は、失火法により建物所有者による火災では弁済義務はなく、ほとんど加入されておりません。建物所有者に故意・重過失が認められた場合、弁償義務が発生しますので、その為のリスクヘッジになります。動産保険より施設賠償責任保険の方がお安くなる可能性もありお取引先の保険会社にご相談して下さい。
お客様の過失による火災の時に新出光の保険会社から請求がありますか？	お客様の過失による火災は、弊社の保険会社より請求が行われる可能性があります。お客様は火災保険で追加するか賠償責任保険に入って頂くことになります。
保険対象外となる事故は具体的にどのようなものがありますか？	以下の例では保険対象外となります。 ①太陽光発電設備の不備で工場（店舗）が停電し生産が遅延した ②発電量が想定値に至らず工場（店舗）が操業に支障をきたした ③設置した太陽光設備の反射がまぶしいため、近隣建物から窓ガラスにフィルム加工を施す必要があると言われ、施工代金を要求された
自然災害補償の対象になる動物災害はありますか？	ガラスが石をくわえて落下させてパネルが割れた場合は対象となりますが、パワーコンディショナーの中に虫が入るなどの虫害、ねずみがケーブル線を齧ってしまうなどは対象となりません。
保険の上限額はいくらになりますか？	①損害賠償保険は上限1億円となっております。（対人は1名に対し、対物は1 事故に対し） ※提案単価が高くなりますが、上限額の変更は可能です ②動産保険は物件ごとに投資額を上限としております。

#### ●その他ご質問

Q	A
どれくらいCO2を削減できますか。	CO2の削減量につきましては、お客様ごとに異なりますので、別途ご相談の上提示させていただきます。
CO2を含んだ環境価値はどこに帰属しますか。	新出光に帰属します。お客様への帰属をご要望の場合は、契約書に明記の上、お客様へ環境価値を譲渡することが可能です。
太陽光パネルの発火による火災の記事を見て心配です。	事象要因として不燃材が使われていない案件、つまり「鋼板等なし型」の設置構造であったことが原因とされておりますが、当社の製品・施工については当該「鋼板等なし型」は存在しないという点がご安心いただけるポイントになっております。 ※「安心」というのは屋根への延焼についてのみであり、モジュールやBOSが「電氣的故障」「発煙」「発火」する可能性がゼロというわけでは無い点をご留意下さい。 もう一点は屋根一体型パネルではない為、延焼リスクが少ない点も安心いただけるかと思います。
資産として決算書に載りますか。所有者は誰ですか。	所有者が新出光になるため、原則お客様の決算に資産として計上されることはございません。詳しくはお客様の会計士へご確認ください。
過去に新出光で太陽光を施工したお客様からのクレーム等がありますか。	ございます。完工後、今までいただいた主な事象は下記になります。 ・発電が止まっている（パワコン故障、パワコンのスイッチをお客様がなにかの手違いで切ってしまっていた等） ・落雷等停電でブレーカーが落ちていた ・モニターが映らない（モニター故障が原因） ・ハトが太陽光パネルの下に巣を作っている（対策：鳩の巣駆除⇒防鳥ネット設置） ・大雨の後などに雨漏りの連絡。（現場確認したところ太陽光工事の起因のものではないことが確認できております） ・太陽光パネルについて、製品不具合と飛来物による破損。保証で対応しています。 弊社のミス等も含め、主に上記の内容のクレームはございましたが、常に解決及び改善をさせていただいております。

<p>事業終了後、パネルの廃棄方法を教えてください。</p>	<p>現在の主流な廃棄方法は産業廃棄物扱いで埋め立て処分ですが、FIT買取期間終了後のパネルの廃棄について国による廃棄費用の積立てが決定しました。また今後の廃棄パネル増加に伴いリサイクル技術も進化しており、さらに従来のFITの場合、中古パネルの使用は厳禁でしたが、自家消費型であればその制約がなくなりますので別の現場で中古パネルとしての運用も考えられます。このように今後は環境を考慮し、リサイクルおよびリユースの観点から廃棄方法を確立していきます。</p>
<p>今後の電気代の推移・予測などを教えてください。</p>	<p>原油価格高騰やウクライナ情勢など様々な影響を受けて、電気料金の値上がりが続いています。各電力会社の基本料金や従量料金の値上げだけでなく、燃料調整費の高騰がコストアップ要因になっていくことを想定しております。現在の電力状況を考慮すると、数年先のことは予測できませんが、今後は現状よりもさらに値上げになる可能性が高くなることが想定されています。</p>